

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00410)

事務事業名称 水辺環境の整備			款 05	項 03	目 03	事業 002	整理番号 425		
現担当課名 土木計画課			係名 施設整備係			連絡先 電話番号 3428	昨年度 整理番号 429		
上位施策No・施策名 08 水とみどりのネットワークの形成						予算事業区分	投資事業		
事業開始 平成13年度			実行計画事業 目標 03 施策 08 計画事業 01			主要事業 (区政経営報告書掲載事業)			
平成27年度 担当課名 土木計画課						事業評価区分	一般		
事務事業の概要	対象 区内3河川(神田川・善福寺川・妙正寺川)沿川の居住者及び利用者等			根拠法令等 (1) (2)	地方自治法第281条2項 河川法第16条の2				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○都市化の進展により失われつつある良好な水辺空間を取り戻すため、人と水とのふれあいの場づくりや老朽化した護岸補修、河床保護等の整備を進める。また、多様な動植物が生息・生育・繁殖できる潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図る。			活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	水鳥一斉調査 (20年度からの累計) シンポジウム開催 (20年度からの累計)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○潤いと安らぎのある水辺環境の再生・創出を図るため、善福寺川「水鳥の棲む水辺」創出事業行動方針に基づき事業を進める。 ○東京都が実施している河川整備において、協議や調整等を図りながら自然環境や景観に配慮した整備を連携して進める。			成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	みどりや水(河川等)とのふれあいを実感している区民の割合 区民意向調査による				
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比 (%)
指標	活動指標 (1)	1 回	6	7	7	8	8	9	100.0
	活動指標 (2)	2 回	6	7	7	8	8	9	100.0
	成果指標 (1)	3 %	73.3	74	74.3	75	72.9	75	97.2
	成果指標 (2)	4							
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	1,953	8,549	6,093	19,796	19,556	13,779	平成27年度 予算執行率 (%) 98.8 特記事項
	(内) 投資的経費等	6 千円	1,953	8,549	6,093	19,796	19,556	13,779	
	(内) 委託費	7 千円	1,230	7,789	5,684	18,883	18,840	13,040	
	職員数	常勤職員数	8 人	0.73	0.90	1.25	1.60	1.88	1.90
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	6,300	7,929	11,013	14,096	16,444	16,619
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	8,253	16,478	17,106	33,892	36,000	30,398	
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15 円	1,050,000	1,132,714	1,573,286	1,762,000	2,055,500	1,846,556	
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0
		国からの補助金等	17 千円	0	0	0	0	0	0
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	0	0	0	0	0	0	
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	8,253	16,478	17,106	33,892	36,000	30,398	
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 425

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	河川調査委託	1	件
	(仮称)みんなの夢水路基本計画策定支援業務委託	1	件	7,640
	(仮称)みんなの夢水路測量委託	1	件	492
	水鳥の棲む水辺創出事業支援業務委託	1	件	767
	その他（謝礼金の支出、事務費 ほか）			721
(2) 事業実績	<p>区内3河川の護岸・管理用通路等の変状等調査を実施しました。 善福寺公園内水路の再整備をするため、みんなの夢水路基本計画を策定するとともに、善福寺川で見られる鳥の生息状況を把握するため区民参加による水鳥一斉調査を実施しました。 また、事業を周知するとともに、区民意見を把握するためのシンポジウムを開催しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>東京都は神田川流域河川整備計画に基づき河川整備を進めており、都施行による善福寺川整備事業と連携して整備を進めてきた親水護岸（区立済美公園の一部を利用）の整備が完了し、安全に配慮した管理を行っています。 善福寺公園内の水路について、地元小学生からの提案を受けて、地域住民と協働して親水施設としての再整備事業を進めています。</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>河川の治水対策に関する意見が多く寄せられる一方、河川は治水・利水の役割だけでなく、貴重な水とみどりの空間として区民に潤いや安らぎを与えるとともに、多様な動植物の生息・生育・繁殖環境を形成するものとして、その役割は大きく見直されてきています。 豊かな自然資源である水とみどりを大切に、積極的に区の事業にもかかわって行きたいとする区民意識の高揚を考慮しつつ、水辺を取り巻く良好な環境づくりを積極的に推進することが期待されています。</p>
	今後の予測	<p>水辺は貴重な水と緑の空間として区民に潤いや安らぎを与えると共に、まちの景観形成や余暇の有効活用等において、重要な役割を果たしています。特に近年では、まちづくりの観点から周辺の公共施設を取り込んだ、一体的な水辺環境整備が社会的な要請となりつつあります。また、水辺に対する区民の関心は高く、東京都の河川整備事業との連携も図りながら、区民との協働により水辺環境の整備を進める必要があります。</p>

評価と課題	<p>区内の3河川は区民の貴重な財産であり、都と連携した河川整備を進め、区民に親しまれる安全で魅力的な水辺環境の創出に努めてきました。区民とともに多様な動植物が生息・生育・繁殖できる水辺環境の再生・創出を進めるため、善福寺川では、水鳥一斉調査などを継続的な取組として実施していきます。また、善福寺公園内水路の親水施設整備では、ワークショップなどを通じて事業を進めており、引き続き整備後の維持管理も含めて区民と協働して取り組んでいきます。</p>
-------	--

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）・実施主体の見直し
今後の進め方	<p>水辺環境の整備については、水鳥一斉調査やシンポジウムの開催などにより、環境への関心を高め意識啓発を図るとともに、東京都をはじめとした関係機関との連携により、自然に配慮した護岸の整備に引き続き取り組みます。また、護岸や親水施設等の安全確保のため、必要な現状調査や補修を行うなど、適切な維持管理に取り組んでいきます。</p>		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 438

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		園地清掃業務委託	565,490	㎡	210,919
		樹木、花壇、除草等管理委託	565,490	㎡	184,582
		公園施設健全度調査委託	269	園	10,166
		遊具等公園施設補修	322	園	75,901
		その他（その他の園地維持管理費）			227,850
(2) 事業実績	<p>平成27年度は、公園施設の長寿命化計画作成のため、遊具の健全度調査を実施しました。維持管理業務を一括して委任した桃井原っぱ公園と指定管理者制度による大田黒公園を除いた320園の園地清掃委託等による公園維持管理を実施しました。遊具や園灯など公園施設の補修工事を行い、公園利用者の安全性と利便性の向上に努めました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化				
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）				
	今後の予測				
評価と課題	<p>区民要望は、平成25年度から二年連続で減少しています。このことから、公園施設の維持管理が適正に行われているものと考えられます。 老朽化が進む公園施設の安全性を確保するため、平成27年度に遊具について公園施設健全度調査を行いました。この調査を元に平成28年度、公園施設長寿命化計画を作成し、公園施設の適正な管理と安全性の確保を行っていきます。</p>				
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性			
		II. 事業の改善の方向性			
	今後の進め方				

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00424)

事務事業名称		公園事業			款	05	項	04	目	01	事業	002	整理番号	439
現担当課名		みどり公園課			係名	公園利用担当			連絡先電話番号	3587		昨年度整理番号	443	
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成12年度	実行計画事業 目標 03 施策 08 計画事業 05											
	平成27年度担当課名	みどり公園課			事業評価区分 一般									
	対象	公園利用者 公園ボランティア団体			根拠法令等	(1) 都市公園法 (2) 杉並区公園条例								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○安全安心に利用できる公園が増え、苦情要望が減少する。 ○地域住民ボランティアによる公園管理が増加する。			活動指標	指標名 (1) 公園ボランティア団体数 指標説明								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	○公園利用調整：公園占用許可の調整や受付を行う。また、占用者と一般利用者や近隣への安全対策などの調整打合せを行う。 ○公園利用指導：不適切な公園利用に対し、職員や夜間安全パトロールによる適正利用指導を行う。 ○公園ボランティア活動支援：公園内の管理活動に携わる団体に対して必要な資材などを提供し活動の支援を行う。			成果指標	指標名 (1) 占用申請利用件数 指標説明								
					指標名 (2)	夜間警備車両台数 指標説明								
					指標名 (2)	要望件数÷公園数 指標説明								
					指標名 (2)	児童遊園、遊び場合む 指標説明								
区分		単位	平成25年度実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度					
			実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)					
指標	活動指標 (1)	1	団体	169	176	172	179	177	184	98.9				
	活動指標 (2)	2	台	1,226	1,226	1,226	1,226	1,226	1,226	100.0				
	成果指標 (1)	3	件	897	900	1,075	1,200	948	1,200	79.0				
	成果指標 (2)	4	件	4	3	3	3	3	3	100.0				
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	56,725	59,624	58,812	60,029	59,205	65,793	平成27年度 予算執行率 (%) 98.6 特記事項				
	(内) 投資的経費等	6	千円	0	0	0	0	0	0					
	(内) 委託費	7	千円	45,985	47,936	47,872	47,522	47,460	53,229					
	職員数	常勤職員数	8	人	4.19	3.30	3.38	3.30	3.42	3.30				
		再任用職員数	9	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
		非常勤職員数	10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	人件費	常勤職員分	11	千円	36,160	29,073	29,778	29,073	29,915	28,865				
		再任用職員分	12	千円	0	0	0	0	0	0				
		非常勤職員分	13	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 (5+11+12+13)	14	千円	92,885	88,697	88,590	89,102	89,120	94,658					
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15	円	549,615	503,960	515,058	497,777	503,503	514,446					
	財源	受益者負担分	16	千円	1,516	1,551	1,985	1,563	1,981	1,779				
		国からの補助金等	17	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	18	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	1,516	1,551	1,985	1,563	1,981	1,779					
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	91,369	87,146	86,605	87,539	87,139	92,879					
受益者負担比率 (16÷14)	22	%	1.6	1.7	2.2	1.8	2.2	1.9						

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 439

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
	(1) 主な取組	安全パトロール業務委託	1,226	台
	花咲かせ隊支援	134	団体	9,276
	すぎなみ公園育て組支援	43	団体	1,835
	犬のしつけ方教室開催	4	回	484
	その他（柏の宮公園学習室運営ほか）			851
(2) 事業実績	<p>平成27年度中にはすぎなみ公園育て組が2増1減、花咲かせ隊は9増5減で、それぞれ43団体と134団体となりました。これらの団体には資器材の支援とともに、講座や交流会を開催し情報提供と情報の共有を図り、区民と協働してより良い公園の維持管理を推進しました。</p> <p>夜間の公園安全パトロールは年間を通じて実施し、要望、苦情に対し迅速な対応を実施しました。また、不正利用によるトラブルの事前予防を図るとともに、公園利用に関するさまざまな情報を収集し、公園での問題解決に努めました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度から始まった「花咲かせ隊」、16年度から始まった「すぎなみ公園育て組」ともに知名度が上がり、参加団体数は着実に増えています。しかし、人手が集まらないことや高齢のため活動が維持できないとの理由で脱退する団体もあり、平成27年度には合わせて6団体が脱退しました。公園の夜間安全パトロールについて指導の依頼は多く、平成22年度から夏場は3台から1台増やし4台体制でパトロールを行っています。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	公園の夜間安全パトロールの実施により、夜間の迷惑行為に対し、迅速に具体的な対応がとれるようになりました。このため夜間の苦情要望について、区民から一定の評価をいただいています。花咲かせ隊、すぎなみ公園育て組の活動についても、公園の手入れや、美しい花壇に感謝の言葉をいただいています。一方で支援の内容に関する要望も増えています。
	今後の予測	益々ボランティアの高齢化が進み、活動の継続が難しくなる団体が増えてくることが予測されます。一方で、知名度の上昇により参加を希望する方が増えているが、活動できる場所が限られてしまう状況が予想されます。
評価と課題	<p>「すぎなみ公園育て組」「花咲かせ隊」ともに活動の場も広がり、公園維持管理における区民との協働の取り組みとして地域コミュニティの醸成にも大きな成果をあげています。公園への関心も高まり多くの人の目が公園に向けられる一方で、早朝夜間の公園利用や、犬の放し飼い、騒音などの迷惑利用も増加しており、安全安心なまちを支えていく上で欠くことのできない事業となっています。</p>	

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	対象の見直し
今後の進め方	<p>安全パトロールは、365日終日区内を巡回し地域の安全を見守っています。特にみどり公園課では、深夜・早朝の区立公園や公共施設などにおける不法行為や不適正利用への指導啓発を行っています。また公園内の球戯場門扉の朝夕鍵の開閉業務も行っており、今後も区民の様々な意見要望に対応し、公園と地域の安全安心を確保していくため必要な事業です。これからも、公園の迷惑利用に速やかに対応する効率的な巡回に取り組んでいきますが、生活様式の多様化により深夜、早朝の迷惑利用に対する指導や防犯に対する要望が増加していくと考えられます。</p> <p>活動中のボランティア団体については、高齢化が進み制度発足当初に比べ活動レベルの低下や団体数の減少がみられます。今後は、各ボランティアの活動状況をきめ細かく把握し、区との役割分担を明確にし、活動が楽しく継続的に続けられよう適切な支援を行います。ボランティア団体と良質な協力関係を保ち、美しい公園の維持に努めます。</p>		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00425)

事務事業名称 遊び場の維持管理			款 05	項 04	目 01	事業 003	整理番号 440				
現担当課名 みどり公園課		係名 公園整備係	連絡先 3583			電話番号	昨年度 444				
上位施策No・施策名 08 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分		既定事業						
事業開始 昭和46年度											
平成27年度 担当課名 みどり公園課		事業評価区分			施設維持管理						
事務事業の概要	対象 区立遊び場(18所) 遊び場利用者		根拠法令等 (1) (2)	杉並区遊び場等の設置及び管理に関する要綱 先行取得用地の活用と管理について							
	事業の目的・目標(対象をどのような状態にしたいのか) ○区民が安全で快適に利用できる遊び場にする。		活動指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2)	遊び場管理面積 区民要望件数							
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手段) ○公園の先行取得用地や、他の公共団体や地主の好意による提供用地を活用した遊び場の整備を行う。 ○施設の保守点検・補修、園地清掃、樹木管理等の遊び場維持管理を行う。		指標説明 成果指標 指標名(1) 指標説明 指標名(2) 指標説明								
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画(目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比(%)		
指標	活動指標(1)	1	m ²	138,697	138,697	146,857	146,857	77,314	72,809	52.6	
	活動指標(2)	2	件	58	0	61	0	34	0	0.0	
	成果指標(1)	3									
	成果指標(2)	4									
総事業費・コスト把握	事業費	5	千円	46,904	74,991	65,760	65,655	60,107	60,160	平成27年度 予算執行率(%) 91.5	
	(内) 投資的経費等	6	千円	1,652	1,705	1,682	2,300	2,144	1,700	特記事項 平成27年度に遊び場102番(面積79,542.79m ²)が廃止され、遊び場110番(面積10,000.00m ²)が開設されました。平成28年度には遊び場107番(面積4,504.54m ²)が公園として開園する予定です。	
	(内) 委託費	7	千円	40,997	66,270	61,172	56,166	54,134	53,409		
	職員数	常勤職員数	8	人	3.30	3.10	3.15	3.10	2.95		2.95
		再任用職員数	9	人	0.60	0.80	0.80	0.50	0.50		0.50
		非常勤職員数	10	人	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
	人件費	常勤職員分	11	千円	28,479	27,311	27,752	27,311	25,804		25,804
		再任用職員分	12	千円	2,316	3,240	3,240	2,025	2,070		2,070
		非常勤職員分	13	千円	1,112	0	0	0	0		0
	総事業費(5+11+12+13)	14	千円	78,811	105,542	96,752	94,991	87,981	88,034		
	単位当たりコスト((14-6)÷1)	15	円	556	749	647	631	1,110	1,186		
	財源	受益者負担分	16	千円	78	45	65	30	8,233	0	
国からの補助金等		17	千円	0	0	0	0	0	0		
都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0		
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(16+17+18+19)		20	千円	78	45	65	30	8,233	0		
差引:一般財源(14-20)		21	千円	78,733	105,497	96,687	94,961	79,748	88,034		
受益者負担比率(16÷14)	22	%	0.1	0.0	0.1	0.0	9.4	0.0			

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 440

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		(仮称) 下高井戸公園（遊び場106番）の清掃、除草、管理委託等	43,820	m ²	8,821
		(仮称) 荻外荘公園（遊び場108番）の清掃、除草、管理委託等	6,071	m ²	26,918
		他の遊び場の樹木管理、除草等	27,422	m ²	6,637
		他の遊び場の清掃業務委託	27,422	m ²	3,935
	その他（他の遊び場の管理運営費、維持補修ほか）				13,796
(2) 事業実績	平成26年度末に（仮称）荻外荘公園（遊び場108番）を開園しました。遊び場102番が廃止され、遊び場110番が開園し、平成27年度は合計18箇所の遊び場の清掃、除草、管理委託等を行いました。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化			
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）			
	今後の予測			
評価と課題	<p>遊び場は、区立公園が不足している地域の補完的役割を担っており、今後も貴重なオープンスペースとして有効利用していきます。</p> <p>遊び場102番については、平成27年5月29日付で閉鎖しましたが、地元住民の強い要望により敷地のうち10,000m²を平成27年8月8日付で遊び場110番として開放しました。都市計画高井戸公園の整備事業の進捗を見据えて、維持管理を行っていきます。</p>			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性		
		II. 事業の改善の方向性		
	今後の進め方			

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00426)

事務事業名称 公園等の整備			款 05	項 04	目 01	事業 004	整理番号 441		
現担当課名 みどり公園課			係名 公園整備係			連絡先 電話番号 3583	昨年度 整理番号 445		
上位施策No・施策名 08 水とみどりのネットワークの形成						予算事業区分	投資事業		
事業開始 平成24年度		実行計画事業 目標 03 施策 08 計画事業 06			10	主要事業 (区政経営報告書掲載事業)			
平成27年度 担当課名 みどり公園課					事業評価区分 一般				
事務事業の概要	対象 区立公園 公園利用者		根拠法令等 (1) 都市公園法 (2) 地方自治法第281条						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○公園の整備により、区民がみどりの中で憩い、ふれあうことができる。また、地域の防災性が向上して区民が安全・安心に生活できる。		活動指標 指標名 (1) 当該年度に新設、拡張整備した公園数 指標説明 指標名 (2) 当該年度に整備した公園面積						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○公園の新設及び拡張整備する。 ○区民一人当たりの都・区立公園面積5㎡を目標に公園を整備する。		成果指標 指標名 (1) 区民一人当たりの都区立公園面積 指標説明 公園・緑地等面積÷人口 指標名 (2) 区立公園の面積 指標説明						
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度 計画 実績		平成27年度 計画 (目標値) 実績		平成28年度 計画	平成27年度 対計画比 (%)
指標	活動指標 (1)	1 園	6	3	2	2	2	3	100.0
	活動指標 (2)	2 ㎡	4,971	4,390	2,089	6,990	6,990	30,860	100.0
	成果指標 (1)	3 ㎡/人	2.06	2.10	2.05	2.08	2.04	2.08	98.1
	成果指標 (2)	4 ㎡	612,458	616,875	614,462	621,452	621,452	652,312	100.0
総事業費・コスト把握	事業費	5 千円	3,305,790	162,372	158,245	1,895,026	1,839,649	1,493,514	平成27年度 予算執行率 (%) 97.1 特記事項
	(内) 投資的経費等	6 千円	3,267,779	111,000	113,364	1,864,528	1,506,988	1,407,346	
	(内) 委託費	7 千円	103,444	162,222	158,100	568,771	515,922	909,160	
	職員数	常勤職員数	8 人	6.47	5.50	6.60	5.70	7.26	6.65
		再任用職員数	9 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		非常勤職員数	10 人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	人件費	常勤職員分	11 千円	55,836	48,455	58,146	50,217	63,503	58,168
		再任用職員分	12 千円	0	0	0	0	0	0
		非常勤職員分	13 千円	0	0	0	0	0	0
	総事業費 (5+11+12+13)	14 千円	3,361,626	210,827	216,391	1,945,243	1,903,152	1,551,682	
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)	15 円	15,641,167	33,275,667	51,513,500	40,357,500	198,082,000	48,112,000	
	財源	受益者負担分	16 千円	0	0	0	0	0	0
		国からの補助金等	17 千円	1,264,217	12,400	2,050	539,000	366,500	391,000
		都からの補助金等	18 千円	0	0	0	0	0	0
その他の補助金等		19 千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 (16+17+18+19)		20 千円	1,264,217	12,400	2,050	539,000	366,500	391,000	
差引：一般財源 (14-20)		21 千円	2,097,409	198,427	214,341	1,406,243	1,536,652	1,160,682	
受益者負担比率 (16÷14)	22 %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 441

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
(1) 主な取組	(仮称) 下高井戸公園第1期整備工事			261,289
	(仮称) 成田西三丁目農業公園整備工事			124,558
	和田堀特別緑地保全地区の整備			60,229
	(仮称) すくすくひろば整備工事			14,262
	その他（(仮称) 成田西三丁目農業公園用地購入など）			1,379,311
(2) 事業実績	<p>(仮称) 下高井戸公園は第1期（西側）約3haの整備工事を行い、引き続き平成28年度も整備工事を進めます。</p> <p>(仮称) 成田西三丁目農業公園整備工事及び和田堀特別緑地保全地区の整備を行い、公園名称をそれぞれ「成田西ふれあい農業公園」、「大宮の杜緑地」としました。</p> <p>また、すくすくひろばを井草森公園、天沼弁天池公園、高南幼児公園に整備しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>用地取得に多大な経費がかかるようになっていきます。</p> <p>みどりを残すこと、また地域の防災機能を向上させるため、公園として整備して欲しいという機運が高まっています。</p> <p>(仮称) 下高井戸公園が整備されることにより、方南和泉地区に地域公園が整備され、杉並区7地域全てに地域公園が整備されることとなります。</p>	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>空き地や駐車場、貴重なみどりが残る民有地等を公園として整備してほしいという要望があります。</p>	
	今後の予測	<p>区民の防災意識の向上に伴い、公園に防災機能を求める声が増えてきています。</p> <p>企業のグラウンドや社宅の処分、公共施設の再配置などにより比較的広大な敷地が公園候補地となる可能性が出てきています。</p> <p>目標とする区民一人当たり公園面積5㎡の確保に向けて、より一層の公園整備が望まれます。</p>	
評価と課題	<p>区立公園の面積は、平成26年度と比較して6,990㎡の増となりました。しかし区民一人当たりの公園面積は、人口増加の影響で前年度に続き微減しています。</p> <p>平成27年度は、農とふれあう公園をコンセプトとした「成田西ふれあい農業公園」と乳幼児が安心してのびのび遊ぶことの出来る「すくすくひろば」を整備し、特徴のある公園づくりを行いました。どちらも時代の変化を捉えた公園として期待されています。</p> <p>公園利用者は従前よりも多世代に及び、区民ニーズも多岐にわたってきており、なかでも、防災機能の充実や安心・安全な公園整備が求められています。今後は、公園機能の充実だけでなく、防災機能や防犯機能も視野に入れた公園整備を検討していきます。</p>		
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<ul style="list-style-type: none"> 既存公園の整備状況に基づき、重点的に整備が必要な公園配置を検討し、民間のみどりと併せて区内全体がみどりでつながった住宅都市づくりを目指していきます。 (仮称) 下高井戸公園のような地域公園をバランス良く配置し、区全体の防災性の向上を図るため企業のグラウンドや社宅、公共用地など、まとまりのある土地に注視して事業に取り組んでいきます。 	

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 442

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
		(1) 主な取組	藤和緑地外5公園流れ設備改修工事	6
	向井公園球戯場改修工事	1	箇所	7,668
	新町鳥居先公園便所建替工事	1	箇所	9,288
	杉並児童交通公園舗装補修工事	66	m ²	1,107
	その他（井草森公園非常用発電機補修工事ほか）			14,789
(2) 事業実績	平成27年度は、老朽化した新町鳥居先公園の便所をバリアフリー対応の「誰でもトイレ」に改修しました。また杉並児童交通公園の園路が劣化して危険なため、舗装の補修を行いました。その他、老朽化した遊具を改修しました。一昨年の大雪で改修を要していた向井公園の球戯場を改修しました。その他、流れ等施設の改修を行いました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	現在300を越える区立公園のうち、約3分の1が1970年代に開園しており、球戯場や木製遊具などが老朽化してきています。 公園周辺の宅地化が進み、球戯場などの騒音対策などの必要性が高まっています。少子高齢化により、公園利用者の対象がこどもからお年寄りまで幅広くなっています。		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	高齢者が利用できる遊具や施設を望む声が増えてきています。 花木の植栽などで特色つけた公園が好評で、花の時期には多くの問い合わせがあります。 球戯場は、利用面での課題もありますが、利用者からは施設の継続を希望する声が聞かれます。		
	今後の予測	園路、広場、便所等の公園施設のバリアフリー化が求められています。平成32年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、更なる施設のバリアフリー化が求められていくと予想されます。		
評価と課題	「東京都福祉のまちづくり条例」に適合した施設を持つ公園は、現在のところ僅かです。公園の改修工事に合わせてバリアフリー化を行うだけでなく、老朽化した公園施設を改修していく必要があります。バブル経済期に設置した施設が多く、それらが老朽化し、改修が追いついていなくなってきています。			
中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充	
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）	
	今後の進め方	公園施設の機能保全とライフサイクルコストの縮減を目的とした「公園施設長寿命化計画」の策定のため、平成27年度は公園施設の中でも特に安全性が求められる遊具について、「公園施設健全度調査」を実施しました。平成28年度は「公園施設長寿命化計画」を策定します。		

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00428)

事務事業名称			みどりを育てる			款	05	項	04	目	02	事業	001	整理番号	445	
現担当課名			みどり公園課			係名			みどりの計画係			連絡先 電話番号	3593	昨年度 整理番号	447	
上位施策No・施策名										08 水とみどりのネットワークの形成			予算事業区分	既定事業		
事業開始			昭和48年度			実行計画事業			目標 03 施策 08 計画事業 03			主要事業 (区政経営報告書掲載事業)				
平成27年度 担当課名			みどり公園課									事業評価区分	一般			
事務事業の概要	対象					根拠法令等		(1) 杉並区みどりの条例 (2) 都市緑地法								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○緑化に関する普及啓発事業の推進を通して、区民等の緑化意識の醸成を図る。					活動指標		指標名 (1) みどりの新聞の発行部数 指標説明 指標名 (2) みどりの講座・イベントの開催数								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段) ○緑化に関する印刷物の発行やみどりのボランティアの育成、みどりに関する講座の開催等を行う。					成果指標		指標名 (1) 緑被率 (平成24年度調査) 指標説明 概ね5年毎に実施する「杉並区みどりの実態調査」による、区全域に占める樹木被覆地等の割合 指標名 (2) 指標説明								
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度							
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)							
指標	活動指標 (1)		1	部	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	100.0						
	活動指標 (2)		2	回	4	4	4	4	4	100.0						
	成果指標 (1)		3	%	22.17	23	22.17	23	22.17	96.4						
	成果指標 (2)		4													
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	14,720	10,308	7,692	15,366	13,683	13,538	平成27年度 予算執行率 (%) 89.0					
	(内) 投資的経費等		6	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費		7	千円	10,327	3,468	2,429	9,135	8,723	6,036	みどりのベルトづくり モデル地区での取組や 支援内容の見直し、資 機材の残、みどりの顕 彰表彰等で残がありま した。					
	職員数	常勤職員数		8	人	4.64	4.00	4.72	4.00	4.16	4.00					
		再任用職員数		9	人	0.12	0.30	0.30	0.25	0.25	0.25					
		非常勤職員数		10	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
	人件費	常勤職員分		11	千円	40,043	35,240	41,583	35,240	36,388	34,988					
		再任用職員分		12	千円	463	1,215	1,215	1,013	1,035	1,035					
		非常勤職員分		13	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	55,226	46,763	50,490	51,619	51,106	49,561						
	単位当たりコスト (14-6)÷1		15	円	1,578	1,336	1,443	1,475	1,460	1,416						
	財源	受益者負担分		16	千円	33	50	96	114	79	112					
		国からの補助金等		17	千円	3,007	0	0	0	0	0					
		都からの補助金等		18	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		19	千円	0	0	0	0	0	0							
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	3,040	50	96	114	79	112							
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	52,186	46,713	50,394	51,505	51,027	49,449							
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2							

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 445

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
		(1) 主な取組	みどりの新聞等印刷物の発行	38,700
	みどりの相談所専門相談員報酬の支出	2	名	1,280
	緑地保全方針モデル地区における調査等委託等	3	件	6,492
	杉並区みどりの顕彰制度「みどりの活動賞」表彰			751
	その他（みどりのボランティア支援、みどりの講座の開催 ほか）			3,303
(2) 事業実績	<p>屋敷林と農地の保全方針として平成26年9月に策定した「杉並区緑地保全方針」のモデル地区でワークショップ・調査委託等を開催しながらボランティア組織「（仮称）みどりの支援隊」発足準備を行いました。杉並区みどりの顕彰「みどりの活動賞」の受賞14団体の表彰をみどりのイベント開催に合わせて行いました。みどりのベルトづくりでは新たな候補地区として堀ノ内推進地区の指定に向け地元説明会等を開催し、地元と協議を進めました。</p> <p>また、みどりの新聞35,000部、小学5年生にみどりの副読本3,700部を配布しました。</p>			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	<p>区内の緑の状況は、緑被率が昭和47年より平成9年まで減少を続けてきましたが、平成14年以降、19年、24年と増加しており、概ね減少傾向に歯止めが掛かっています。</p> <p>一方で、後世に継承すべき生産緑地や屋敷林などは減少しています。</p> <p>【緑被率推移】 24.02%(S47)、 21.56%(S52)、 20.84%(S57)、 19.90%(S62)、 18.97%(H4)、 17.59%(H9)、 20.91%(H14)、 21.84%(H19)、 22.17%(H24)</p>
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	<p>みどりに関心を持つ区民が増えて、みどりの講座への参加や印刷物等の需要は高まっています。また、みどりのイベントやみどりのボランティア等、身近なみどりを育てる活動をする区民が多数おり、地域緑化及び地域コミュニティの醸成に貢献しています。</p> <p>平成26年度に実施した杉並区みどりの顕彰制度「みどりの活動賞」の表彰では、緑化活動者から喜ばれ、活動意欲が高まりました。</p> <p>新緑などへは好意的な意見が多い反面、樹木の落ち葉や日照の件について、適正管理の要望も多く寄せられています。</p>
	今後の予測	<p>杉並区のみどりは杉並の原風景といえる屋敷林や農地といった民有地のみどりが全体の7割を占めています。価値観の多様化している時代に、こうした環境を後世に引き継ぐためには、その価値を一人でも多くの地域住民に関心を持っていただくことが重要です。</p>
評価と課題	<p>これまでのみどりの普及啓発によって樹木・樹林の保全要望が寄せられたり、魅力的な緑化をしている住宅が増加するなど、区民のみどりへの関心が高まっています。今後は、みどりに興味を持ってもらうために紙面や講座だけではなく、幅広い方が参加できるような体験事業等の企画実施を進めていきます。</p>	

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
今後の進め方	<p>農地や屋敷林等、区内のみどりの約7割は民有地のみどりですが、これらのみどりがもたらす様々な恩恵は等しく区民に還元されており、地域全体の公共的資産ととらえることも必要です。この意味でみどりの保全への取組は、関心があるものだけが行うのではなく、利益を享受する地域社会全体が支えていくべきものと言えます。</p> <p>今後は、樹林地等の民有地のみどりを、行政、区民、NPO、企業等が協働することで、できる限り維持してもらう仕組みを育て、保全に努めていきます。あわせて、相続の発生等、不測の事態により所有者が維持できなくなった場合も、できる限り行政が対応していく仕組みを検討していきます。</p> <p>今あるみどりを減らさないこと、みどり環境を意識した普及啓発を継続して実施し、みどりを増やす努力をすること、杉並のみどりをよく知ることなどを念頭に置き、緑被率25%を目指します。</p>		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 446

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
		緑化計画の指導・受理	1,907	件
(1) 主な取組	屋上・壁面緑化助成	179	m ²	2,725
	寄付樹木の受領	10	件	1,920
	公共施設の樹木維持管理委託	242	所	87,203
	その他（接道部緑化助成・苗木の育成委託・みどりのリサイクルほか）			3,901
	(2) 事業実績	緑化計画書の指導・受理1,907件の内訳(200m ² 以上706件、200m ² 未満1,201件) 緑化計画による計画接道部緑化延長6,760.7m、計画緑地面積64,821.6m ² 、計画樹木本数96,942本 寄付樹木受領本数63本		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	接道部緑化助成制度は昭和53年度から緑化推進モデル地区内で始まり、昭和60年度に区内全域へ拡大しました。平成12年度には塀の撤去も含め現在の助成制度の体系になっています。屋上・壁面緑化助成については平成14年10月から始まり、平成18年度に一部改正しました。平成24年度には、助成制度全体について改正し現在に至っています。平成27年度は件数が若干少ない中で、規模の大きな案件が無く実績は伸び悩みました。緑化計画件数はここ数年1,800~2,000件程度で推移しています。
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	接道部緑化助成については、2項道路で未後退の場合後退が条件となるため、緑化を断念することもあります。屋上緑化助成については建物の構造上の安全確認を求めため、助成を活用できないこともあります。緑化計画に関しては、大規模の案件では、別の基準を持つ都と区双方にどちらの基準も満たす計画を提出する必要があるため、時に苦情をいただきます。風致地区で壁面後退等の緩和措置を受ける場合も同様です。また、寄付樹木に関しては、リスクの大きな大木の移植や、移植完了時期等の条件が折り合わず、止むを得ずお断りする場合、不満の声も聞かれます。
	今後の予測	震災等を意識し万年塀やブロック塀を改修したい方は多いものの、緑化は管理コストや手間が継続するため慎重に選択する傾向は続くと思われれます。ただ、地球温暖化や生物多様性等みどりの重要性に対する意識が高まると共に、住宅メーカー等も見せる緑化を重視するようになっており、緑化助成への需要は続くものと思われれます。

評価と課題	みどりの実態調査によると、緑被率・接道部緑化延長・屋上緑化面積は共に増加しており、新たなみどりは増えています。緑化助成制度は、緑化を選択肢の一つとして検討する区民の背中を押す制度として有効です。特に、敷地面積に制限を設けず、きめ細かな指導を行う杉並区独自の緑化計画制度は、費用対効果の面でも有効な制度です。 一方、緑化助成制度は大規模案件の有無が実績を左右し、緑化計画制度は計画書、完了届の提出率等まだ100%ではありません。完了時に緑化されていない菜園等は緑地面積に含められないなど、多様化する諸条件への対応も課題であり、常に制度の改善に努める必要があります。
-------	--

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	敷地面積に関わらず全ての建築確認行為を対象とする杉並区独自の緑化計画制度は、有効に機能していますが、緑化計画、完了届の提出率には伸び代が見込めるため、勸奨やPR等を実施し改善に努めます。緑化助成制度も含め、環境やニーズの変化を的確に捉え、より有効な手法を検討していきます。	

平成28年度 杉並区事務事業評価表 (1)

(00430)

事務事業名称			みどりを守る			款	05	項	04	目	02	事業	003	整理番号	447					
現担当課名			みどり公園課			係名			みどりの事業係			連絡先 電話番号	3595	昨年度 整理番号	449					
上位施策No・施策名											08 水とみどりのネットワークの形成		予算事業区分	既定事業						
事務事業の概要	事業開始		昭和48年度		実行計画事業		目標 03		施策 08		計画事業 02		主要事業 (区政経営報告書掲載事業)							
	平成27年度 担当課名		みどり公園課								事業評価区分		一般							
	対象					保護樹木等の補助：個人、事業者		根拠 法令 等		(1)		杉並区みどりの条例								
								(2)		杉並区みどりの条例施行規則										
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					活動指標					指標名 (1)				貴重木指定本数					
○大きな樹木や樹林を所有者の同意のもと指定し保護していく。特に未来に残したい巨木や珍木については貴重木として指定し手厚く保全する。					指標説明					指標名 (2)				保護樹木指定本数						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手段)					○一定基準以上の樹木、樹林、生けがきについて、所有者の申し出により保護指定を行い、倒木事故等に対応する損害保険の加入、所有者の維持管理費の負担軽減のための補助金交付を行い、みどりの保護に努める。					成果指標					指標名 (1)				貴重木保全率	
										指標説明					貴重木指定本数÷貴重木保全計画本数					
										指標名 (2)					保護樹木継続率					
										指標説明					今年度樹木数÷前年度樹木本数					
区分		単位	平成25年度 実績	平成26年度		平成27年度		平成28年度	平成27年度											
				計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)											
指標	活動指標 (1)		1	本	39	100	58	100	68	100	68.0									
	活動指標 (2)		2	本	1,624	1,900	1,580	1,800	1,585	1,800	88.1									
	成果指標 (1)		3	%	39	100	58	100	68	100	68.0									
	成果指標 (2)		4	%	94	100	97	100	100	100	100.0									
総事業費・コスト把握	事業費		5	千円	65,757	773,238	761,660	54,515	44,931	61,586	平成27年度 予算執行率 (%)		82.4							
	(内) 投資的経費等		6	千円	21,901	716,481	713,906	318	313	8,204	特記事項									
	(内) 委託費		7	千円	30,603	27,381	20,806	15,520	11,963	22,530	・平成25年度と平成26年度、平成28年度の事業費は、それぞれ市民緑地の整備工事、和田堀緑地保全地区の用地取得と暫定工事、市民緑地の縮小工事により増加しています。									
	職員数	常勤職員数		8	人	4.30	3.90	4.10	4.10	4.20	4.10									
		再任用職員数		9	人	1.10	1.10	1.10	0.90	0.60	0.60									
		非常勤職員数		10	人	0.42	0.00	0.00	0.50	0.10	0.10									
	人件費	常勤職員分		11	千円	37,109	34,359	36,121	36,121	36,737	35,863									
		再任用職員分		12	千円	4,246	4,455	4,455	3,645	2,483	2,483									
		非常勤職員分		13	千円	1,168	0	0	1,415	294	294									
	総事業費 (5+11+12+13)		14	千円	108,280	812,052	802,236	95,696	84,445	100,226										
	単位当たりコスト ((14-6)÷1)		15	円	2,214,846	955,710	1,522,931	953,780	1,237,235	920,220										
	財源	受益者負担分		16	千円	0	0	0	0	0	0									
		国からの補助金等		17	千円	0	131,900	131,900	0	0	0									
		都からの補助金等		18	千円	0	287,000	287,000	0	0	0									
その他の補助金等		19	千円	7,470	5,000	7,466	5,000	7,187	5,000											
特定財源計 (16+17+18+19)		20	千円	7,470	423,900	426,366	5,000	7,187	5,000											
差引：一般財源 (14-20)		21	千円	100,810	388,152	375,870	90,696	77,258	95,226											
受益者負担比率 (16÷14)		22	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 447

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		樹木・樹林・生けがき・貴重木の保護指定補助	662	件	34,255
		区営苗圃の維持管理	3,816	m ²	7,367
		市民緑地の維持管理	3	所	2,809
		生き物生息場所の保全	3	所	500
	その他（ ）				
(2) 事業実績	平成28年3月31日現在、区内の保護指定は、保護樹木1,585本、保護樹林421,788.25m ² 、保護生けがき6,251.10m、貴重木68本（うち公共20本）となっています。公共の貴重木については平成26年度から新たに公共施設についても指定を開始しました。そのほか区営苗圃3か所3,816m ² 、市民緑地3か所3,872.33m ² があります。				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	保護指定制度はみどりの条例ができた当初から柱となる制度で、保護樹木等に指定することで貴重なみどりを未来にわたり残す制度です。保護指定された樹木等は所有者も伐採には慎重で、当制度がみどりの減少に対する抑止力となっています。保護樹林は解除したが可能なものは保護樹木として残す例や、保護樹木を貴重木に格上げする事例もあります。	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	保護樹木等の存在は、多くの方に恩恵を与える反面、近隣住民には日照・落葉による雨どいの詰まり・落葉掃除など迷惑な面もあり、保護樹木等の所有者の維持管理や対応に不満がある場合、区は苦情をいただきます。樹木の維持管理は所有者の責務ですが、必要な維持管理経費に対して区の補助金が少額なため、補助金の増額や制度の見直しの意見も寄せられます。高齢化に伴い落葉清掃等の日常管理が負担になって存続が困難との話も聞かれます。	
	今後の予測	宅地化の進行や相続に伴う土地の細分化など、個人所有の古くからの大木や樹林の存続は厳しい状況にあります。新たに住宅を建てる際にも、戸建住宅等では将来大きくなる樹木は植えられないのが現状で、保護樹木等の減少傾向は続くと思われます。一方で、マンション等の集合住宅ではまとまった新たなみどりが形成されたり、屋上緑化の増加や草を含め多様な植物を混植する植え込みの増加など、みどりの質が変化していく傾向が進むと思われます。	
評価と課題	保護指定制度は、維持管理費に対する補助、損害賠償責任保険への加入、看板設置によるPRにより樹木の保全や普及啓発に一定の成果を上げています。ただ、保護指定していない場合との比較が難しく、その成果が見えにくいのが難点です。 一方、補助金額は実際に必要な維持管理費用に対して少額で、増額要望や支援方法の見直し等の意見も寄せられており、継続して制度の検討を進めます。		

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	現状維持
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	保護樹木・樹林・生けがきについては有効な支援手法を検討します。貴重木については追加指定を進め保全に努めると共に普及啓発にも役立てます。また、平成26年9月に策定した「杉並区緑地保全方針」に基づき、保護指定制度、市民緑地制度、特別緑地保全地区制度、特別樹林制度等、様々な保全制度を活用し、屋敷林をはじめとする貴重なみどりの効果的な保全を進めていきます。	

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 448

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		みどりの基金寄附総額	57	件	888
		みどりの基金の利子			21
		その他（ ）			
(2) 事業実績	<p>みどりのイベント、落ち葉感謝祭でみどりの基金PR及び募金活動を行いました。また、みどりの顕彰みどりの活動賞の表彰時にみどりの基金のPRを行いました。 さらに、協力団体による「みどりの基金キャンペーン」をジャズストリートとタイアップして実施しました。また、花と緑の井草祭りなど地域のお祭りでもみどりの基金の寄附を募りました。</p>				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	年間の寄附総額が、概ね小額のまま推移しており、基金残高は年々目減りしています。		
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	寄附した方からの意見としては、保存が必要な樹林地等の購入や、保護指定樹木等を管理するための費用などを望む声が多くあります。一方、寄附しない方の理由としては、寄附をする機会が無い、寄附の仕方がわからないなどの意見があります。		
	今後の予測	基金の用途について、これまでの「みどりの保全」のほかに「区を代表する公園などの整備」を加えたことにより、寄附金を出していただく方に成果をイメージしやすくしていきます。周知PRに務め、基金へのご寄付を増やしていきます。		
評価と課題	<p>みどりの基金も徐々に認知度が上がり寄附を継続していただける個人、団体も増えてきています。一方で何らかの寄附をしたいと思う区民がおり、多くの基金の中からみどりの基金を選択していただけるよう効果的なPRを実施していきます。</p> <p>また、基金の活用は、みどりの保全として保護樹林への助成金に一部充当していますが、用途に杉並区を代表する公園の整備を加えたので、その活用方法を考えていく必要があります。</p> <p>基金残高は年々目減りしているので、寄附金と取崩し金とのバランスを見直していきます。</p>			

中長期的な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	拡充
		II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
	今後の進め方	<p>現在、みどりの基金の用途は、保護樹林の補助金に充当していますが、区を代表する公園などの整備を加えたので、寄附者にとってより具体的で目に見えるものに基金を充当するとともにPRしていきます。</p> <p>また、基金がみどりの保全に関する普及啓発分野で貢献できるよう用途を考えます。</p> <p>より多くの個人、団体からご理解を得て、寄附をしていただけるような方策を検討して行きます。</p>	

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 449

平成27年度の事業実施状況	(1) 主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
		地域別ブロック方式清掃業務委託	16	所	13,681
		公衆便所の光熱水費	16	所	3,055
		公衆便所の維持補修	16	所	974
		公衆便所の管理運営	16	所	298
		その他（公衆便所の樹木管理）			142
	(2) 事業実績	現在、16所設置している公衆便所維持管理のため、日常清掃、設備の改修及び修繕などを実施しました。高円寺駅北口公衆便所については、特別清掃を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	

評価と課題	施設が経年劣化していく中で清潔で利用しやすい公衆便所を提供するには、日常の定期清掃や設備の修繕等では限界があり、また、バリアフリー化も課題となっています。今後、限られた予算の中で区民サービスの向上を図るため、施設の老朽度合いやバリアフリー化が急がれる公衆便所を総合的に勘案した上で、計画的に改修を行います。また、日常の維持管理面では、利用者の利便性・快適性の向上を図ることが課題となっており、特別清掃の実施やすべての個室にトイレトペーパーを設置するなど利用者へのサービスの充実を図っていきます。
-------	---

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	
		II. 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		

平成28年度 杉並区事務事業評価表（2）

整理番号 450

平成27年度の事業実施状況	内容	規模	単位	事業費（千円）
		大田黒公園管理運営（指定管理者）	1	所
(1) 主な取組	桃井原っぱ公園管理運営業務委託	1	所	24,429
	角川庭園・幻戯山房の管理運営業務委託	1	所	7,753
	光熱水費	10	所	12,226
	その他（公園緑地事務所等の管理運営費（上記以外））	31,079		
	(2) 事業実績	<p>南・北公園緑地事務所、区内8所の公園管理事務所及び角川庭園・幻戯山房の管理運営を行ないました。民間事業者による運営・管理を大田黒公園は指定管理者制度2期目（5年間）の2年目、桃井原っぱ公園は長期業務委託契約（3年契約）の2期目の2年目として運営・管理を行ないました。</p> <p>また、平成28年度に井草森公園の長期業務委託契約（3年契約）を実施するため、選定委員会を設置し、プロポーザル方式による受託者候補者の選定を行ないました。</p>		

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	
	事業に対する意見（事業に対する期待・要望・苦情など）	
	今後の予測	

評価と課題	<p>大規模公園等の運営・管理は、管理事務所が行っていますが、平成23年度から開始した大田黒公園（指定管理者制度）及び桃井原っぱ公園（業務委託）の民間事業者による運営・管理はそれぞれ2期目を迎えており、さらに充実した公園の管理運営に努め、区民からの評価は良好です。</p> <p>また、平成28年度の井草森公園管理事務所の委託化実施に向け、選定委員会を設置し、プロポーザル方式により受託者候補者を選定しました。今後も管理事務所の委託化について検討し実施を進めていきます。</p>
-------	---

中長期な改善・見直しの方向	今後の方向性（見直しの視点）	I. 事業コストの方向性	
		II. 事業の改善の方向性	
	今後の進め方		